

100歳おめでとうございます



松丸 フジエさん
(池田町佐野)

2月28日、池田町の松丸フジエさんが満100歳を迎えられました。愛媛県四国中央市で生まれ、20歳すぎで結婚し、2男1女を育てられました。子どもが小さいうちは専業主婦で、40歳頃からは縫製工場に勤められていました。97歳まで一人で生活し、散歩や日記を書くことを日課にされていたようです。市内の特別養護老人ホームに入所されている現在は、テレビ電話で家族と話をすることを楽しみにされています。これからもお元気でお過ごしください。



輝く高校生たちにエール!
全国高等学校選抜大会出場生が高井市長を表敬訪問

3月下旬から全国各地で開催される全国高等学校選抜大会に出場する池田高等学校の各部の主将が三好市役所で高井市長を表敬訪問しました。出場するのは、池田高校本校の男子レスリング部、女子ハンドボール部、辻校の女子ソフトボール部、三好校のレスリング部で、各部の主将は自己紹介とともに「全国大会ベスト8」や「支えてくれた方々に良い報告ができるよう頑張ります」と全国大会への決意を述べ健闘を誓いました。高井市長からは「後悔のないよう思い切ってプレーして下さい」と激励のあいさつと目録が贈られました。



ウッドスタート誕生祝い品贈呈式が3月19日、池田総合体育館にて行われ、10組の家族が参加しました。三好市は2019年にウッドスタートを宣言し、「生まれて初めて触れるおもちゃ是三好市の木のできたおもちゃ」をコンセプトに誕生祝い品の開発を進めてきました。参加した家族には、鍵盤部分がかざら橋をイメージして作られた木琴風のおもちゃが手渡されました。また当日は、数十種類の木のおもちゃが広がる「おもちゃ広場」が用意され、子どもたちの笑い声が響きました。三好市は今後も、木の温もり、やさしさに触れる機会を増やすことによって、暮らしの中に木を取り入れるきっかけとなるよう、木育を推進していきます。



もみじの手に木のぬくもりを
誕生祝いに木のおもちゃを贈呈



白煙の中の救助訓練

池田消防署で火災想定訓練が行われました

3月2日、池田消防署による火災を想定した訓練が旧池田消防署で行われました。春の火災予防運動期間である3月1日～7日に合わせて行われ、旧池田消防署内には火災現場さながらの白煙がたちこめました。火災現場に2名が取り残された想定で、安全ロープを頼りに空気呼吸器を背負っての訓練となりました。重装備の中、真剣なまなざしで訓練に取り組む消防員の額には汗がにじみました。



命と健康を守る功労者に感謝

三好病院 院長に感謝の花束

県立三好病院 院長の住友正幸さんの退職に際し、三好病院を応援する会 会長の菅井弘昭さんから、感謝の意を込め花束が贈呈されました。院長として8年間勤務し、在職中にはフルセットのがん治療設備導入、高度先進関節脊椎センターの設置など、数多くの功績を残されました。4月からは東祖谷診療所で月2回診療し、引き続き地域医療を守るためにご尽力いただいています。今後のご活躍を祈念いたします。



癒しの場 装いを新たに

山城身体障害者デイサービスセンターが移転

3月27日、22年間市民に親しまれた三好市山城身体障害者デイサービスセンターが移転し、落成式が行われました。延床面積は453.45㎡で県産木材を使用した木造平屋建ての明るく柔らかな木目が特徴のバリアフリー施設です。床暖房を備えた広々としたデイルームからは、暖かな陽光に照らされる中庭が一望でき、利用者の方に癒しと憩いと生きがいを提供する施設となりました。



一歩ずつ有事に備えた対策

給水車を購入しました

三好市危機管理課では、災害時や漏水事故による断水における応急給水などに対応するため、車両一体型給水タンク車(1,550リットル)を3月に導入しました。これにより、災害の初期段階に医療施設や福祉施設、避難所等への迅速な給水活動が可能になります。私たちの生活にとって欠かせないライフラインである水が、災害発生などの緊急時においても、途絶えることのないように備えを進めています。